



HIMEJI DREAM FESTA 2017

～チャレンジ! ONE MORE アクション!～

対内事業報告書

2017年度 公益社団法人 姫路青年会議所
チャレンジする市民主体のまち創造委員会

内容

1. はじめに	3
2. 概要	4
3. これまでを振り返って	5
① HIMEJI DREAM FESTA 過去4年間の推移	5
② HIMEJI DREAM FESTA 2013	7
③ HIMEJI DREAM FESTA 2014	9
④ HIMEJI DREAM FESTA 2015	11
⑤ HIMEJI DREAM FESTA 2016	13
4. HIMEJI DREAM FESTA 2017 企画	15
① HIMEJI DREAM FESTA 2017の方向性	15
② HIMEJI DREAM FESTA 2017の位置づけ	17
③ 実施日時、来場者	18
④ 実施場所	21
⑤ 大会テーマ	21
⑥ 予算	22
5. HIMEJI DREAM FESTA 2017 運営	23
① 組織体制	23
② 事業構成	24
③ 参画者募集	25
④ 広報展開	25
6. HIMEJI DREAM FESTA 2017 実施	26
① 事業説明会	26
② 当日までの設営	26
③ 当日の運営	26
④ 来場者集計	27
⑤ 参画・協力団体一覧	28

⑥ 事業実施内容.....	29
⑦ 当日の風景	32
7. アンケート結果.....	34
① 来場者アンケート	34
② 参画者アンケート	35
8. 今後の展開 ～5回の開催を振り返って～	36
9. おわりに.....	37

1. はじめに

平成27年3月の姫路城グランドオープンをきっかけに、姫路城の来場者数は順調に伸び続け、平成27年度の来場者数は過去最高の286万人を記録、外国人の入場者数も30万人に達しました。姫路城周辺は国内外の観光客で賑わいをみせ、姫路城の注目度は日本国内に留まらず世界に響かんとする勢いです。また、姫路駅周辺では、再開発事業に伴う商業施設、交通施設の整備が進み、姫路駅前周辺の集客力は増すばかりです。平成28年に入ってからはやや落ち着きを見せつつありますが、ゴールデンウィーク期間の姫路城、動物園、美術館等の各施設の入場者数は、グランドオープン前の平成26年との比較では、大半の施設で入場者数が増加しています。この勢いを継続させるためにも、姫路城だけではなく、姫路のまちにはたくさんの魅力が詰まっているということ、姫路市民はもとより国内外の観光客に対して力強くアピールする必要があります。

公益社団法人姫路青年会議所は姫路のまちが国内外から注目されている絶好の機会を活かして運動発信をするべく、2013年より、姫路市民の運動や姫路の魅力の発信の場としてのHIMEJI DREAM FEST Aを開催して参りました。過去4年間においては、産・官・学・民の協力のもと、メインステージ上では市民の皆様による熱いパフォーマンス、食ブースにおいては姫路が誇る食文化の数々、市民会館やイーグレひめじでは著名人を招いての講演、参画企業、NPO法人等の展示ブース、体験ブース等々、参画者が個々の魅力を存分に発揮されることで、多くの来場者に対して姫路市民の活動や姫路の持つ魅力を伝えることに成功しました。

本年におきましては、姫路市民が主役となって活躍できる協働の場、そして、公益社団法人姫路青年会議所の最大の運動発信の場として、5年目の節目としてこれまでに培ってきた産・官・学・民とのネットワークを紐解き、さらなる強固なネットワークを確立するべく高い目標を掲げ、HIMEJI DREAM FEST A 2017の大会構築を行って参りました。本報告書は過去5年間の実績と本年に取り組んできた事業内容を公益社団法人姫路青年会議所会員の皆様にお伝えし、多角的な視野にて分析を行った上で今後のまちづくり運動の展開に寄与するべく制作いたしました。

ご協力いただいた現役会員皆様への感謝と、まちづくりを行ってきた戦友としてご協力いただいていた参画者の皆様への感謝をもって、HIMEJI DREAM FEST A 2017の事業報告書とさせていただきます。

公益社団法人姫路青年会議所

チャレンジする市民主体のまち創造委員会

委員長 有川勝紀

2. 概要

H I M E J I D R E A M F E S T Aは本年で5年目、5回目の開催となりました。一つの節目でもある本大会は、これまでの集大成といった意味合いも持たせ、これまで4回の開催を通じて培ってきた産・官・学・民との連携体制をより強固なネットワークへ変革させ、参画者の各々が主体性を持って活躍できるような大会を目指しました。その上で、引き継げるものは引き継ぎながら青年会議所だからこそ行える運動を追求し、主幹となるチャレンジする市民主体のまち創造委員会は、H I M E J I D R E A M F E S T A 2017を現役会員が一丸となって行う全体事業を企画・運営に努めるようお約束いたしました。

昨年度から引き継いで参りました事業構築の歩みとしまして、いち早くH I M E J I D R E A M F E S T Aの開催をご案内するべく大会の日時や場所、大会テーマ、ロゴマークなどの大会基本情報を2月に決めさせていただきました。大会基本情報の決定を機に、過去ご参画いただいた方々への案内と本年度への参画意思や過去の実績を教えていただきながら、5月に行われましたお城まつりに事業参画いたしました。大会テーマである「O N E M O R Eアクション」を意識し、また、参画団体間のネットワークをより強固なものにするために、市民を巻き込んで参画団体全員で一つのアートを仕上げる設えを企画いたしました。そして、産・官・学・民が協働で一つの事業を創り上げるという意識を持つことで様々な課題を乗り越え、H I M E J I D R E A M F E S T Aにおいても事業参画も行っていただきました。

一方、大会を円滑に設営・運営するために、公益社団法人姫路青年会議所の各委員長をはじめ執行部メンバー全員を巻き込んで、H I M E J I D R E A M F E S T Aの運営会議を行いました。主管する委員会として、委員会運営方針に掲げた理想を追求しつつ、実際に事業構築にあたり、各委員会にどのようにご協力いただきたいか想いを伝えることで、意識の統一を図りました。

事業構築する中で、参画団体の皆様に大会の全容をお伝えし、設営時の注意点だけでなく、参画団体間のコミュニケーションを促進するためにH I M E J I D R E A M F E S T A事前説明会を開催いたしました。公益社団法人姫路青年会議所会員に向けては、対内説明会を事業準備に追われ一番大変な時期に行い、今一度大会への熱い想いを共有する場を企画しました。

これら一つひとつの歩みを積み重ね、公益社団法人姫路青年会議所を代表する運動として、H I M E J I D R E A M F E S T Aの事業構築を行って参りました実績をご報告いたします。

3. これまでを振り返って

HIMEJI DREAM FESTA 2017の事業報告を行うに先立ちまして、これまで4回の開催を経て、HIMEJI DREAM FESTAが、どのように変貌していったかを検証する意味でも、これまでの4大会がどのような大会であったのかを振り返ります。

①HIMEJI DREAM FESTA 過去4年間の推移

まずは、過去4年間の大会について、各大会がどのように変遷していったかをまとめました。

年度	2013年	2014年	2015年	2016年
大会 テーマ等	ひかり輝く未来のために	希望に満ちた未来を描いて	愛され続けるまちを 未来へ繋ごう！ 「感じよう！姫路のスゴイ！」	This is HIMEJI 「姫路をめっちゃ好きになろう」
予算	5,072,486 円	7,312,229 円	8,533,346 円	8,397,787 円
助成金 (県)	まちづくり支援助成金 100,000 円	地域づくり活動応援事業 300,000 円	地域づくり活動応援事業 400,000 円	地域文化継承応援事業 400,000 円
助成金 (市)	—	地域夢プラン 500,000 円	まちなか会場賑わいづくり事業 400,000 円 姫路城おもてなし応援事業 300,000 円	地域夢プラン継承事業 500,000 円
会場	大手前公園 イーグル姫路	大手前公園 イーグル姫路 姫路駅前駅北広場 各商店街	大手前公園 イーグル姫路 姫路駅前駅北広場 各商店街 市民会館 家老屋敷跡公園	大手前公園 イーグル姫路 姫路駅前駅北広場 各商店街 市民会館 家老屋敷跡公園
来場者	17,990 人 通行量	40,060 人 通行量	22,404 人 積上方式	30,872 人 積上方式
参画 協力団体	121 団体・企業	110 団体・企業	93 団体・企業	130 団体・企業
参画 内容	うまいもん Festa 市民活動応援 Festa Dance☆Festa Rock☆Festa Jazz☆Festa 等	食・国際・市民活動等ブース MUSIC☆FESTA JAZZ☆FESTA 太鼓☆FESTA MUSIC☆FESTA 等	食文化エリア 市民活動紹介エリア キッズエリア ステージエリア セミナーエリア 等	This is HIMEJI Traditional Culture エリア FOOD Culture エリア International エリア Bussiness エリア 等

委員会 事業	「姫路夢あかり2013」 ～あかりで繋ぐ城下町～ 世界つながり発見！ ～心の国際化を目指して！～	姫路夏あかり2014 ～みんなが主役（スター）～ 姫路からコクサイチャンス！！ ～食べて感じよう！世界の文化～ 姫路からコクサイチャンス！！ ～ダンスで感じよう！世界の文化～ H I M E J I D A N C E L E C T. ～ダンスエボリューション2014～ 子供達のために、今大人ができること ～土曜授業3プログラム紹介セミナー～	姫路夏あかり2015 未来へ繋げ！あかりの環！ 育てよう！国際キッズ ～親子でまなぼう国際観～ 全ては子どもの未来の為に ～子どもの幸せを願って～	H I M E J I T R I P ! ～千原せいじ氏の旅に学ぶ～ 世界の皆さんこんにちは！ This is HIMEJI 食育共育アドベンチャー！ ～姫路の中心で食を学ぼう！ 未来を見つめて ～私たちがすべき事～
-----------	---	---	--	--

4年間の継続開催により、巻き込んだ参画団体・企業は延 454 団体・企業。来場者については、各年度の天候や計測方法の変化により一概には言えませんが、認知度が増すにつれ順調に伸びていったことが分かります。

また、参画内容については、第一回目より食や市民活動のブース出展、ダンスや歌のステージが行われており、これらは全ての大会において引き継がれています。

また、回を重ねるごとに開催エリアを広げ、当初は大手前公園が中心であった開催場所は、今や、姫路駅から大手前公園を結ぶ動線が開催エリアとなりました。

② HIMEJI DREAM FESTA 2013

HIMEJI DREAM FESTAは2013年に産声を上げることになります。まちづくり創造特別委員会の松島委員長のもと、「HIMEJI DREAM FESTA 2013 ～ひかり輝く未来のために～」と題して開催されました。開催日は2013年9月15日（日）、16日（月）。当初より、二日間続けての開催となりました。

開催場所は、姫路大手前公園及びイーグレ姫路あいめっせホール。メイン会場として大手前公園を継続利用することは、HDFの会場は大手前公園という認識を内外に知らしめました。

開催内容としては、メイン会場では、「うまいもんFesta」、「市民活動応援Festa」、「世界つながりブース」、「和太鼓☆Festa」、「Rock☆Festa」、「Jazz☆Festa」、「Himeji☆アイドルバトル2013」、「Dance☆Festa踊odoriba場」、「歌え！白鷺ズ・プロジェクト」等々。開催当初から、現在の事業の基礎が作られていました。各委員会の事業としては、「姫路夢あかり2013」、「平成Z世代 ガチンコアンケート・パネルエキシビジョン」、「子どもジェントルマン育成フォーラム」と、各参画者の運動発信と、公益社団法人姫路青年会議所の事業とが同時に開催されるという、第一回目から盛りだくさんの事業が組み込まれていました。

大会を振り返って

HIMEJI DREAM FESTAを通してLOM全体が一丸となり真剣に「ひと」と「まち」を考え、LOMの未来を語り合い、そして同じ場所で体感し感動する。HIMEJI DREAM FESTAを行うことで、更なる高みを目指し歩むための実践経験と希望を得ることが出来たのではないのでしょうか。創立60周年に向けて公益社団法人姫路青年会議所の運動の方向性として「夢ふくらむ創造プロジェクト2011」を基に姫路市民が自発的に活き活きと自分達のまちや生活の中で人と人の繋がりを深め個々の相互理解を確かめながら思いを体現できるまちを目指す事を目標として掲げ実践して参りました。その様なまちに対する想いと提案を実現するものとして、実践する為には青年会議所だけでなく、市民を中心に産・学・官の参画が必要なのは言うまでもありません。過大な夢を更なる高みへの希望へと変え、私たちは「運動」と伝播する為の「活動」を求め体現し続けて行かねばなりません。その思いを受け継ぐのは「「夢ふくらむ姫路」創造プロジェクト2011」を長期の受け継ぐべきビジョンとして捉え中長期的な夢を実現する希望とし、今こそ全メンバーでの「活動」を通じて青年会議所の「運動」の結果を形にするべきと考えます。

その様な「活動」の一つとして国際大会の招致ではないのでしょうか。

国際大会の招致に当たって広く市民の方々に対して私たちの「運動」にご理解とご賛同をいただき、我々の理念の基で自分達にできる事を実践する過程でまちの基盤となる繋がりはじまるまちづくりが具現化するものと考えます。まち自身が大きく変わろうとする今「国際大会の招致運動の開始」を一つのツールとし多くの課題の実現をそれぞれの夢とし、それらを実践する過程が目標となり、ひかり輝く未来のための希望として個々の大きな成長になると考えます。夢ふくらむ姫路創造プロジェクト2年目の進化を果たすべく中期的なまちづくりのビジョンを見据え、市民団体・LOM全体で事業を行う事をきっかけに、個々のメンバーが夢人として視野を広げた大局観を持つ一助となり、次年度も本事業が開催される運びとなりました。更には「ひと」と「まち」の大きな力になる中で公益社団法人姫路青年会議所が目指す長期的ビジョンがより明確になり、目標へと歩み出す一步となりました。また市民団体・企業との参画により、次年度は各組織の現状課題の把握と目標への意欲が高まったという声もあり、自発的・能動的に新たな連携の形を創造し、市民主体のまちづくり活動の波紋へと拡がる一助となりました。

2013年度まちづくり創造特別委員長 松島慶太

【2013年度Profile】

事業名	HIMEJI DREAM FESTA 2013～ひかり輝く未来のために～
日時	9月15日（日）－16日（月）
場所	大手前公園、イーグレひめじ
来場者数	17,990人
天候	15日：雨により中断、16日：晴
予算	5,072,486円
協賛・助成金	まちづくり支援助成金 100,000円
委員会事業	ひかり輝く城下町推進委員会： 「姫路夢あかり2013」～あかりで繋ぐ城下町～ 心の国際化推進委員会： 世界つながり発見！～心の国際化を目指して！～

【事業風景】



③ HIMEJI DREAM FESTA 2014

継続開催をすることが決定した2014年は、「HIMEJI DREAM FESTA 2014 ～希望に満ちた未来を描いて～」と題して開催されました。

開催日は2014年8月23日（土）、24日（日）での開催となりました。24日は警報発令により13時30分に中断、15時30分に中止が決定されるという不運に見舞われました。

開催場所は、前回大会に続き姫路大手前公園及びイーグレ姫路（アートホール、セミナー室等）。さらにこの年からは、姫路駅前駅北広場（芝生広場）や姫路駅前各商店街に舞台を広げ、姫路駅から大手前公園の動線を会場と位置づけ、事業内容や動員計画を図ることになりました。

開催内容としては、参画団体が主役となる姫路地元食材を利用した食ブース、国際色豊かな飲食ブース、市民活動・企業活動紹介ブース、「太鼓☆FESTA」、「MUSIC☆FESTA」、「JAZZ☆FESTA」、「落語☆FESTA」、姫路JCが行う事業である「HIMEJI DREAM PRIDE 2014」、「HIMEJI DREAM LECT～ダンスエボリューション2014～」、「姫路夏あかり2014 ライト&スター～みんなが主役（スター）～」、「子供達のために、今大人ができること～土曜授業3プログラム紹介セミナー～」等が催されました。

大会を振り返って

本年度初めて、大手前公園の全体を利用してブースの出展を行いました。大手前通り及び姫路城周辺からの来場者からの流入が思いのほか少なかったことを踏まえ、今後、ブースの配置等については、来場客の滞留場所や動線を考慮して、さらに検討を重ねる必要があると考えております。姫路駅前の芝生広場や商店街においても今年初めて開催場所として利用しました。姫路駅前からお城まで全体を通して大会をアピールできました。

HIMEJI DREAM FESTA 2014では、昨年に参画いただいた団体、企業のみならず、新たな団体、企業とも連携を行い、幅広い多くの団体と協働することができました。また、各行政機関の公益社団法人姫路青年会議所に対する信頼は高く、事業内容にも賛同をいただき、事業への参画のみならず、会場の確保等においても、多大な協力をいただくことができました。公益社団法人姫路青年会議所が、今後、国際大会等を招致し、運営を行うこととなった場合には、同大会において実施する事業の全てを、公益社団法人姫路青年会議所が単独で行うことはおよそ不可能であり、行政機関との緊密な連携、協力を得なければならないことは当然のこと、幅広い市民団体等に事業を担っていただき、協力をしていただくことが必要不可欠であると考えます。公益社団法人姫路青年会議所が、今後も、各行政機関、多くの市民団体、企業とともに協働して、HIMEJI DREAM FESTAを作り上げることを継続することにより、それらの団体との信頼関係を高め、また、双方の企画運営力を高めることとなります。

また、HIMEJI DREAM FESTA 2014は、LOMの全体事業として全会員が一致団結して取り組むことができ、前記の通り、多くの団体、企業の参画を得ることができました。今後、多くの団体、企業に参画をしていただく中で、公益社団法人姫路青年会議所が取り纏めから運営まですべて主導していくわけにはいかないので、それぞれの設営、運営は、中心となりうる団体に委ねていく必要があります。そして、公益社団法人姫路青年会議所が国際会議等の招致を目標とするためにも、LOM全体で意識共有を行うことが重要であるとともに、行政機関や市民団体に連携協働関係を深めること、青年会議所運動の発信をより高めたHIMEJI DREAM FESTAを実施・継続していく必要があります。

2014年度HIMEJI DREAM FESTA推進委員長 松岡洋平

【2014年度Profile】

事業名	HIMEJI DREAM FESTA 2014～希望に満ちた未来を描いて～
日時	8月23日（土）－24日（日）
場所	大手前公園、イーグルひめじ、姫路駅前北広場、各商店街
来場者数	40,060人
天候	23日：晴、24日：雨により中断・中止
予算	7,312,229円
協賛・助成金	地域づくり活動応援事業 300,000円 地域夢プラン 500,000円
委員会事業	希望に満ちた姫路のまち創造委員会： 姫路夏あかり2014～みんなが主役（スター）～ 希望に満ちた国際都市姫路推進委員会： 姫路からコクサイチャンス！！～食べて感じよう！世界の文化～ 姫路からコクサイチャンス！！～ダンスで感じよう！世界の文化～ 希望に満ちた青少年育成委員会： HIMEJI DANCE LECT. ～ダンスエボリューション2014～ 希望に満ちた姫路びと育成委員会： 子供達のために、今大人ができること～土曜授業3プログラム紹介セミナー～

【事業風景】



④ H I M E J I D R E A M F E S T A 2 0 1 5

第三回目の2015年は、「H I M E J I D R E A M F E S T A 2 0 1 5 ～愛され続けるまちを未来へ繋ごう！～」、大会テーマをと「感じよう！姫路のスゴイ！」と設定し開催されました。

開催日は2015年8月22日（土）、23日（日）で、前回大会とほぼ同時期での開催となりました。

開催場所は、大手前公園、市民会館、イーグレひめじ、キャッスルガーデン、各商店街。本大会では、市民会館での事業を行う等、開催場所を広げていきました。

開催内容としては、食文化エリア、市民活動紹介エリア、キッズエリア、ステージエリア、セミナーエリア、サテライトエリアと、エリア毎に各事業を展開していきました。

大会を振り返って

本年度は、「感じよう！姫路のスゴイ！」を大会テーマとして掲げ、多くの参画者や来場者に姫路にはお城以外にも多くの魅力があることを再認識していただき、愛着や誇りをより醸成できたのではないかと考えております。今回は新たな取り組みとしてキッズエリアを設け、親子で参加できる体験ブースやセミナーを数多く開催したことにより、多くの集客を図れたと同時に、次世代の姫路を担う若い世代にも姫路の魅力を感じてもらえました。また、参画者様間で新たな繋がりが生れ、その繋がりが、それぞれの団体様の活動に活かされ、姫路のまちが盛り上がっていく事を願っております。H I M E J I D R E A M F E S T Aは、実施年数を重ねるごとに認知度や知名度も上がってきておりますが、まだまだ多くの方に来ていただくための広報活動に改善の余地があると考えます。

姫路の夏祭りといえば、お城まつりやゆかた祭りが誰の頭にも浮かんだものでありますが、本年度はお城祭りが5月に移行され、ゆかた祭りが規模縮小という形となりました。これらのイベントは行政主体に実施されるものです。この絶好の機会に公益社団法人姫路青年会議所が、このH I M E J I D R E A M F E S T Aを市民が主体となって姫路独自の独創的な市民祭典にしていくことが良いのではないかと思います。ただ単純なお祭り事ではなく、姫路の市民が本当に姫路のことを考え、皆が協働し創り上げ、自分たちを表現します。そして、我々青年会議所は、まちづくりのリーダーとして、この祭りを主催します。そうすることで、我々の運動・活動の認知度も飛躍的に伸び、公益社団法人姫路青年会議所が最大の運動発信の場となり、ひいては明るい豊かな社会の実現に繋がるのではないかと考えます。

2013年から始まったH I M E J I D R E A M F E S T Aは、2011年に策定された5年間のグランドデザインである「夢ふくらむ姫路」創造プロジェクト2011に描かれたビジョンを形にすべく事業化されました。「国際会議などの大会の招致」という更なる高み（目標）に向けて活動することで、メンバー一人ひとりが志を高く、強い信念をもって、最後までやり遂げる責任感を持った、たくましいJ A Y C E Eとなり、公益社団法人姫路青年会議所がより高い次元でのまちづくり活動を展開できます。その為には、①より明確なH D Fのビジョンを持つ、②計画的な組織体制、③公益社団法人姫路青年会議所の地域への影響力強化が必要であると考えます。LOMの現状と姫路のまちの現状、そして、先述のキーワードを照らし合わせて考えると、国際アカデミー、ASPAC、世界会議などの国際会議を招致すべきではないでしょうか。その中でも、もっとも身近な目標としては、国際アカデミーの招致がふさわしいと考えます。

本年度のH D Fを、J C運動の最大の発信の場でもあり、公益社団法人姫路青年会議所の象徴となる事業という位置づけで事業構築していきました。当委員会でもその目標により近づくべく、多くの議論を重ね、それを形にしました。しかしながら、終わってみて振り返りますと、まだまだ進化発展の可能性を秘めた事業であると感じております。

2015年度愛され続けるまち創造委員長 柴田耕作

【2015年度Profile】

事業名	HIMEJI DREAM FESTA 2015～愛され続けるまちを未来へ繋ごう！～ 大会テーマ：「感じよう！姫路のスゴイ！」	
日時	8月22日（土）－23日（日）	
場所	大手前公園、イーグレひめじ、姫路駅前北広場、各商店街、市民会館、家老屋敷跡公園	
来場者数	22,404人	
天候	22日：晴、23日：晴	
予算	8,533,346円	
協賛・助成金	地域づくり活動応援事業	400,000円
	まちなか会場賑わいづくり事業	400,000円
	姫路城おもてなし応援事業	300,000円
委員会事業	協働のまちづくり実践委員会： 姫路夏あかり2015未来へ繋げ！あかりの環！ 国際の機会実践委員会： 育てよう！国際キッズ～親子でまなぼう国際観～ 教育開発推進委員会： 全ては子どもの未来の為に～子どもの幸せを願って～	

【事業風景】



⑤ HIMEJI DREAM FESTA 2016

第四回目の2016年は、「HIMEJI DREAM FESTA 2016 “This is HIMEJI”～姫路をめっちゃ好きになろう～」とし、大会テーマと事業名を同化させることで、大会テーマの浸透に成功した事業であったように思います。

開催日は2016年9月3日（土）、4日（日）で、9月上旬での開催となりました。開催場所としては、前回と同様に大手前公園、市民会館、イーグレひめじ、キャッスルガーデン、各商店街等となりました。

開催内容としては、「This is HIMEJI Traditional Cultureエリア」、「This is HIMEJI FOOD Cultureエリア」、「This is HIMEJI SAKEエリア」、「This is HIMEJI Internationalエリア」、「This is HIMEJI Bussinessエリア」等、それぞれのブースや事業開催場所の全てに「This is HIMEJI」と冠して統一性を持たせ、各ブースを細分化することで纏まりある大会となりました。

大会を振り返って

産官学民・他団体と連携協働し、それぞれが魅力を深めた活動を行い、参画いただいたことで、姫路のまちやひとが持つ魅力に気づいていただき、姫路のまちに誇りや愛着を持っていただく機会となりました。また、駅前芝生広場では花の街姫路実行委員会の重陽の節句や、兵庫県皮革組合連合会の皮革市と事業を共同開催することで規模を拡大して開催でき、大企業との連携も生まれメディアにも取り上げられました。このように多くの団体が魅力を高め、参画することで、姫路のまちの魅力を再認識し、参画者の方は、お互いの組織の魅力を知ることができました。

これまでは、姫路の夏祭りといえば、お城まつりやゆかた祭りが誰の頭にも浮かびましたが、姫路お城祭りが5月に移行されております。行政主体の夏祭りではなく、公益社団法人姫路青年会議所がHIMEJI DREAM FESTAを通して、市民が主体となって姫路独自の独創的な市民の祭典にしていけることが求められています。しかし、ただ単純なお祭りではなく、姫路の市民が本当に姫路のことを考え、皆が協働し創り上げ、自分たちを表現する。そして、我々青年会議所は、まちづくりのリーダーとして、この祭りを主催する。そうすることで、我々の運動・活動の認知度も飛躍的に伸び、公益社団法人姫路青年会議所の最大の運動発信の場となり、ひいては明るい豊かな社会の実現に繋がるのではないかと考えます。

今後の展開としては、「食文化協会との更なる協働したHIMEJI DREAM FESTA」、「フォーラムや講演を中心とするHIMEJI DREAM FESTA」、「商店街と共に盛り上げるHIMEJI DREAM FESTA」、「企業と協働したHIMEJI DREAM FESTA」、「姫路らしさ溢れるHIMEJI DREAM FESTA」と、5つのHIMEJI DREAM FESTAの可能性を揚げられ、今後の展開についてのヒントを与えていております。

そして、まちづくりに対しては、市民の皆様にも、姫路のまちの魅力を意識していただき、それぞれの立場からその魅力を深めた活動を継続的に行っていただくことを促していきます。公益社団法人姫路青年会議所が主軸となり、産官学民・他団体と連携・協働し、それぞれの想いを繋ぎ合わせて「これが姫路、This is HIMEJI」と感じる発表の場を多くの皆様と創り上げることが望まれます。

2016年度誇り高きまち創造委員長 埴岡大祐

【2016年度Profile】

事業名	HIMEJI DREAM FESTA 2016“ This is HIMEJI ” ～姫路をめっちゃ好きになろう～	
日時	9月3日（土）－4日（日）	
場所	大手前公園、イーグレひめじ、姫路駅前北広場、各商店街、市民会館、家老屋敷跡公園	
来場者数	30,872人	
天候	3日：晴、4日：晴	
予算	8,397,787円	
協賛・助成金	地域文化継承応援事業	400,000円
	地域夢プラン継承事業	500,000円
委員会事業	国際のまち姫路発信委員会： HIMEJI TRIP！～千原せいじ氏の旅に学ぶ～ 国際のまち姫路発信委員会： 世界の皆さんこんにちは！ This is HIMEJI 教育開発委員会： 食育共育アドベンチャー！～姫路の中心で食を学ぼう！ 市民意識変革委員会： 未来を見つめて～私たちがすべき事～	

【事業風景】



4. HIMEJI DREAM FESTA 2017 企画

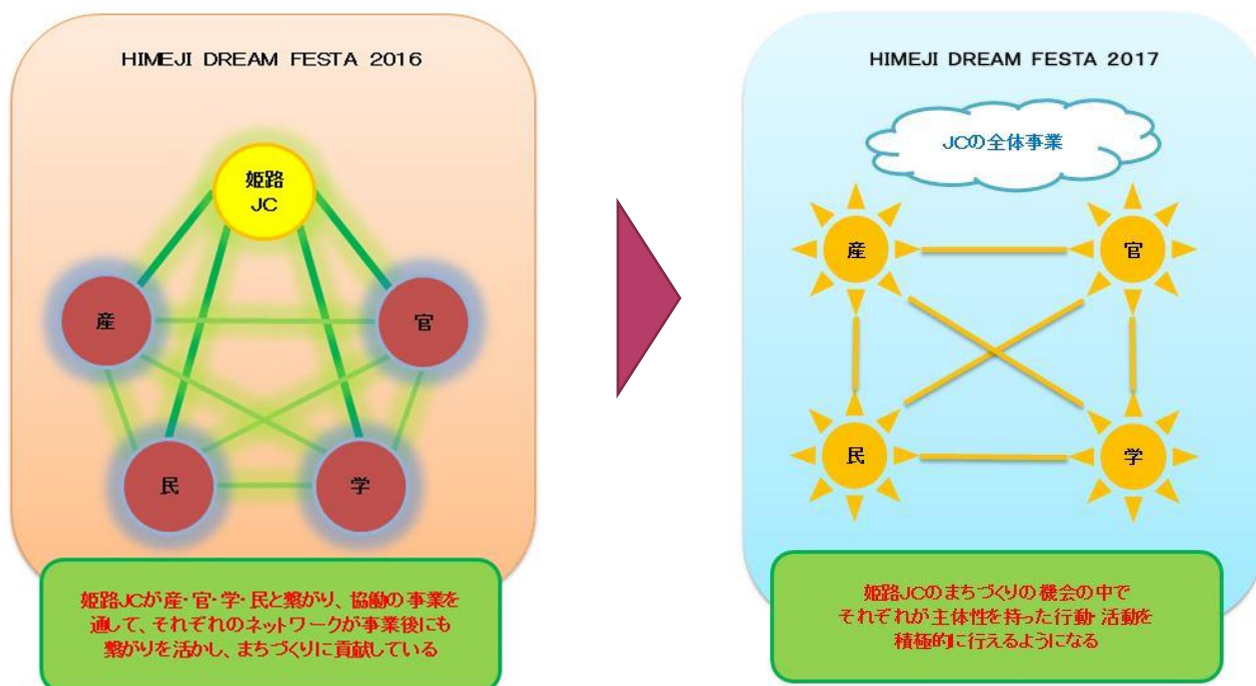
① HIMEJI DREAM FESTA 2017の方向性

これまでの4回の開催を経て、発展を続けてきたHIMEJI DREAM FESTA。2017年度の開催に当たっても、まずは過去4回の開催の経緯、それぞれの大会の目的を知り、その上で、2017がどのような目的をもった大会にすべきかを考えることにしました。

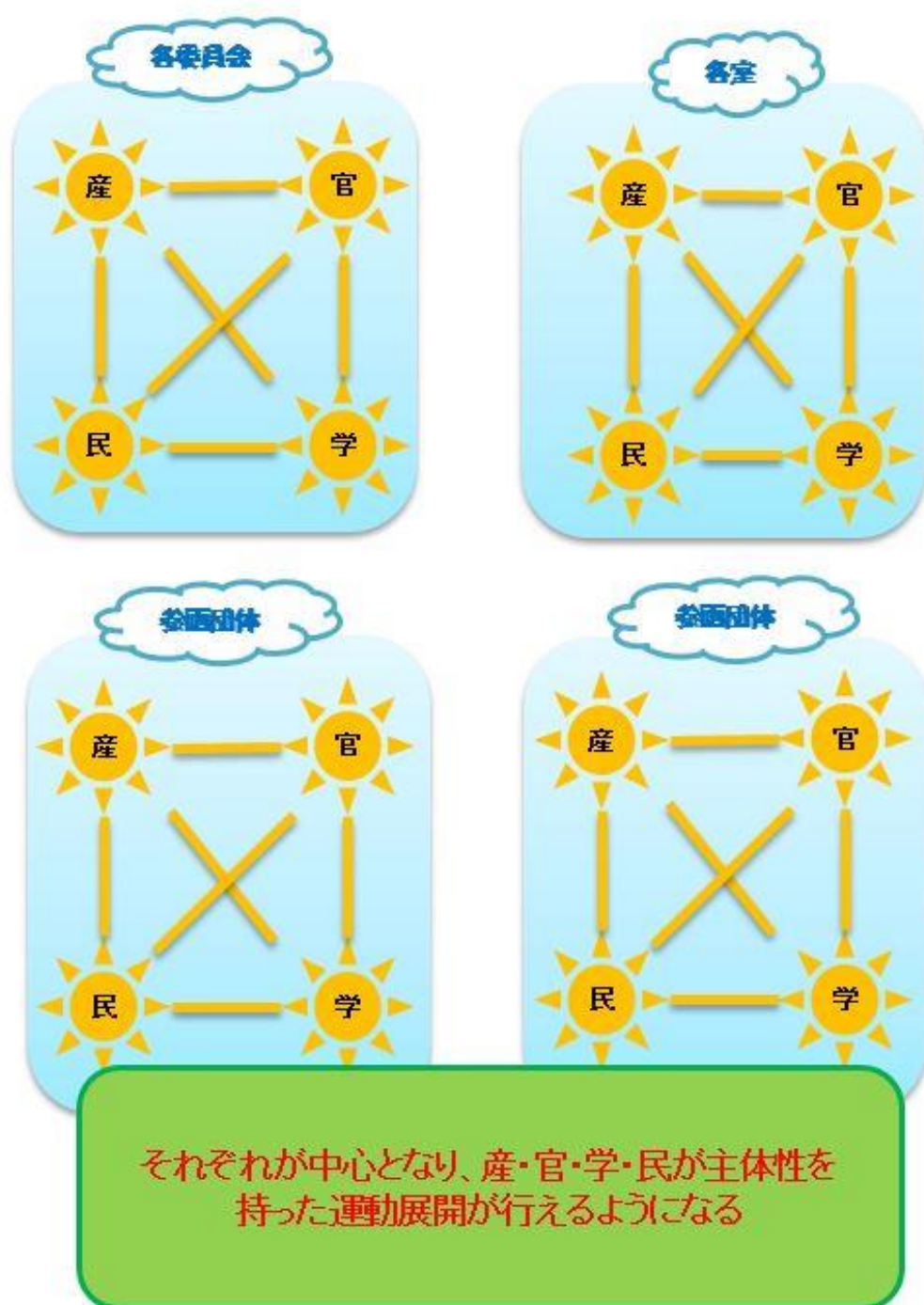
まず、HIMEJI DREAM FESTA 2017の方向性としては、JC運動をより良いものにし、広げるために産官学民との連携を深めてこられた4年間の実績を基に、2017年度は、更に強固なネットワークを構築することで、市民が主体となって行動できるまちへと我々が導くことに着目しました。

ここで言う市民が主体となるとは、まちづくりとなるようなアイデアの発案や行動を、自ら積極的に行うことを指します。また、これまでは大会テーマに賛同いただき、協働で事業を行うことで生まれる繋がりを協働のネットワークと表現してきたが、更に強固なネットワークとして、一つのテーマに共感することでより主体性を持った繋がりへと変革し、1団体では不可能な取り組みや新たなアイデアへの挑戦を共に行っていく協働のネットワークのことを指します。

また、昨年度のHIMEJI DREAM FESTAにおいては、市民が主体となって行動できるきっかけが生まれました。2017年は、さらに一歩進み築いた繋がりを生かして、新しいアイデアをもって大会へ積極的に貢献いただくことにしました。

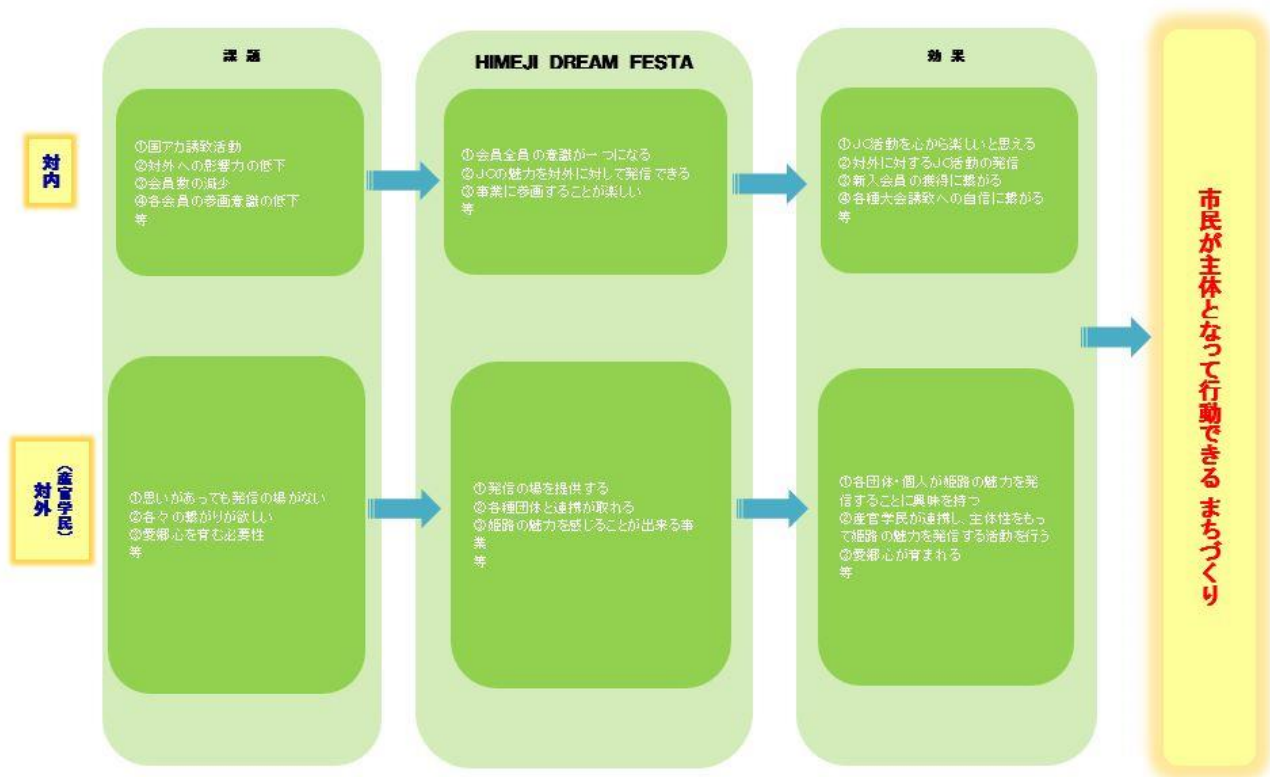


2017年の大会を通して、カテゴリーごとに独自に運動を発信いただけるようになり、参画者の皆様が独自に運営できるようになります。それが、2017年以降により効果の高いJC運動へ発展していくことになると考えました。



②HIMEJI DREAM FESTA 2017の位置づけ

次にHIMEJI DREAM FESTA 2017の位置づけとしては、対内及び対外のそれぞれの課題を列挙し、大会への参画を経て、どのような効果が生まれるのかを検証しました。公益社団法人姫路青年会議所や、参画される各種団体の方々は、それぞれに課題を抱えております。その課題をHIMEJI DREAM FESTAへの参画を通じて解決し、その結果として「市民が主体となって行動できるまちづくり」に繋がると考えました。



③ 実施日時、来場者

●HIMEJI DREAM FESTA 2013

9月15日（日）－16日（月）実施。

9月は日本におけるJC運動が公式に発足した月であり実施月としては価値あるものと考えました。また姫路の観光事業の中で9月に行われる事業は少なく、お城祭り以降10月初旬の観月祭まで実施されません。姫路の魅力をお年寄りから子供たちへと伝え、次代へ想いが繋がる事業へ拡がることを希望し、敬老の日があるこの日を選定しました。大会当日の15日は台風の影響で中断。16日は晴天となり無事開催できました。

◆来場者17,990人（通行量）

●HIMEJI DREAM FESTA 2014

8月23日（土）－24日（日）実施。

毎年8月に開催されてきた「お城まつり」が2015年からは時期を移動させる予定があった中で、「HIMEJI DREAM FESTA」を8月の新たな姫路の風物詩に位置付けていくためには、「お城まつり」と同月開催となるとしても、8月の開催が妥当であると考えました。また、広報活動面や事業面においても「お城まつり」との連携が期待でき、夏休み期間であることから、多くの一般来場者を得ることが期待できました。さらに、昨年度は台風のため、一部中止となりましたが、8月下旬ころは比較的天候に恵まれていることも選定理由となりました。大会当日は、24日に警報が発令され中断後中止の判断となりました。

◆来場者40,060人（通行量）

●HIMEJI DREAM FESTA 2015

8月22日（土）－23日（日）実施

8月は夏休み期間であり、すでに姫路城の再オープンが行われ、多くの来姫者が予想されることから、本事業へより多くの一般来場者を得ることが期待でき、参画団体の参画も得られやすく、より賑わいを創出できると考えました。また毎年8月に開催されてきた「お城まつり」が今年度以降、時期を移動させるため新たな姫路の風物詩として「HIMEJI DREAM FESTA」を位置付けていくためにも8月の開催が妥当であると考えました。

◆来場者22,404人（積み上げ方式）

●HIMEJI DREAM FESTA 2016

9月3日（土）－4日（日）

公益社団法人姫路青年会議所がまちづくり運動を効果的に実施するうえで、気象条件や学校関係・各種団体のスケジュール、開催エリアの周辺施設の空き状況など総括的に検討した結果、この日程が最も多くの市民にまちづくり運動を展開できると考えました。また兵庫ブロック協議会主催の近畿地区ブロック大会とも重なったため、次年度が始まっている中で力が分散されないよう9月初旬開催が決定しました。

◆来場者30,872人（積み上げ方式）

●HIMEJI DREAM FESTA 2017

8月5日（土）－6日（日）

8月は夏休み期間中であるため多くの学生の参画が期待でき、関係する学校関係者及び友人・保護者が来場することによって、多くの姫路市民の参加が期待できました。また、家族連れの観光客も多く訪れることで、各種団体も本事業へ一層協力していただけたと考えました。また、8月には、上記日程のほかに、12日・13日、19日・20日、26日・27日と土日がありますが、その中でも5日・6日は8月の第一週目の土日ということで、これまで「姫路お城まつり」が開催されていた日程に該当します。この時期は天候にも恵まれやすく、比較的に人が集まりやすいことから、屋外型の事業をするには絶好の日程であると考えました。また、学生の参画を考えた際にも、夏休みに入って間もないことから、参画の準備もスムーズに運ぶものと思われます。以上のことから、最も開催に適する日程として、8月5日・6日と決定しました。

本年度においては、開催日の一週間前から台風の上陸が懸念され、前々日からの会場設営や開催そのものが危ぶまれました。しかし、会場設営の始まる8月3日から大会終了の6日までは、やや風の強い時間帯があったものの、雨一つ降らない晴天に恵まれ、無事開催することができました。ただし、晴天続きが、日中、大手前公園内は非常に暑く、参画者の方からも暑すぎるとの声がいただきました。

◆来場者32,525人（積み上げ方式）

☆今後の参考として

【気候・気温】

8月上旬の暑さは尋常ではなく、特に、日陰が少なく地面の照り返しが厳しい大手前公園の会場内の気温は相当上がってしまいます。天候には恵まれやすい日程ではありますが、暑さ対策は万全を期すべきです。本年においては、例年よりもミストシャワーの数を増やしたり、休憩テントの数を増やしたりする等工夫はしたものの、参画者の方々から「暑過ぎた」との感想を頂いたように、ブース内や回遊する通路等、会場内の暑さ対策は万全とは言えませんでした。参考としましては、伝統的な方法ではありますが、大手前公園の会場内に打ち水は取り入れるに値するものであると感じました。定期的に会場を巡回し、打ち水をする係を設定することを検討いただきたいと思います。

【動員】

ステージ回りの参画者である学生や市民団体の方に限ると、夏休みということもあり比較的に参画しやすかったようです。ただし、食文化関連に限ると、8月5日にはたつの市と赤穂市で、8月6日には加古川市でそれぞれ花火大会が開催される等、各地でイベントが行われていたこともあり、参画を見送った団体が多くありました。周辺都市でのイベントの予定には十分に気を配り、大会日を決定していただきたいと思います。

【対内】

H I M E J I D R E A M F E S T Aを開催に当たっては、全体事業であることから、公益社団法人姫路青年会議所の全勢力が当事業に注力されることになります。しかし、公益社団法人姫路青年会議所は、H I M E J I D R E A M F E S T Aだけを行っている団体ではありません。H I M E J I D R E A M F E S T Aの他にも、各委員会がそれぞれ多くの担いをもって、そのいずれの事業も全力で取り組むものです。H I M E J I D R E A M F E S T Aの開催に重点を置きすぎて、他の事業が疎かにならないよう、開催スケジュールについては、余裕持って取り組めるような日程で決定していただきたいと思います。

④ 実施場所

これまでの実施場所については2013年が大手前公園、イーグレ姫路、2014年が大手前公園、イーグレ姫路、キャッスルガーデン、商店街、2015年が大手前公園、イーグレ姫路、キャッスルガーデン、商店街、市民会館、2016年が大手前公園、イーグレ姫路、キャッスルガーデン、商店街、市民会館、家老屋敷跡公園と、開催毎に実施場所を広げてきました。

HIMEJI DREAM FESTA 2017におきましても、当初はHIMEJI DREAM FESTA 2016と同じ開催場所を使う予定でありましたが、結果として家老屋敷跡公園は使用しない開催となりました。開催場所が縮小したからといって事業の規模が縮小したわけではなく、本年においては、駅前から大手前公園を繋ぐ事業を行う等、例年よりも駅からの動線を意識した大会づくりを心掛けました。

大手前公園の会場については、HIMEJI DREAM FESTAの顔とも言えるステージを設置することが可能なこと、多くのブースを出店することができること、観光客等からの視認性がよく集客しやすいこと等から、今度もメイン会場としての利用を検討していただきたいと思います。



⑤ 大会テーマ

「チャレンジ！ONE MORE アクション」

● 決定理由

私たちが想い描く姫路の未来は、住みやすいまち姫路、働きやすいまち姫路、人が集まるまち姫路を核としています。姫路のまちは、姫路城を中心とした歴史や伝統文化が今も息づき都会と自然がバランスよく調和して住む人の心を豊かに育み、また、大手企業だけではなく確固たる地場企業が存在することにより働く人の誇りや経済的な豊かさを創出しています。今ある姿よりもさらに姫路のまちが住みやすく、働きやすく、人で賑わう活気あふれるまちであり続けるためにも、公益社団法人姫路青年会議所は、まちの現状に刺激や変化をもたらすような大会の運営に挑戦する必要がありました。

そこでHIMEJI DREAM FESTA 2017においては、参画者とともに大会を築き上げていくとの想いのもと、姫路の未来に貢献できるようなまちづくり活動に挑戦していく決意を込め、「チャレンジ！ONE MORE アクション」と大会テーマを決定しました。

●「ONE MORE アクション」とは

私たちが考えている「ONE MORE アクション」の「ONE MORE」とは「もう少し、もう一步、もう一回」踏み込むことであり、H I M E J I D R E A M F E S T A 2 0 1 7を通じて、姫路のまちの魅力をさらに高めるための「もう少し、もう一步、もう一回」踏み込んだ行動に市民の方とともに挑戦します。そのためにまずは、参画いただく全ての方に持てる力の100%を出し切って、大会を楽しんでいただきます。

その中で新しい試みとして、今まで行ってきた活動や地域の魅力を今一度見つめ直し、参画者の皆様が協力し合うからこそ生み出せるまちの魅力を発信していただきます。その魅力が来姫者から好評を得られれば、姫路をもう一度訪れたいまちと言っていたくことにも繋がります。公益社団法人姫路青年会議所におきましても、産・官・学・民が一体となった今あるまちの魅力をさらに高める「ONE MORE アクション」に挑戦いたします。

⑥予算

事業全体額 7,640,500円

ブース出店料：750,000円

ブース出展料：340,000円

助成金：500,000円（兵庫県「中播磨地域づくり活動応援事業」）

助成金：500,000円（姫路市「提案型商店街賑わい推進事業」）

全体事業を構築するに当たっては、前年から引き続きとはなるが、出来る限り早い段階で全体の予算を確定させることが優先であると考えました。年初にはH I M E J I D R E A M F E S T A担当委員会が大会全体の構想を企画し、前年度の実績ベースで事業予算を考え、事業を担当する各委員長とも構想を共有した上で、事業予算の割り振りを考えていくべきであると考えます。

●ブース出店料・出展料

今年度においては、食文化の出展料を例年の1ブース10,000円／日から1ブース15,000円／日に値上げを行った。これは、食文化ブースの厳選、少数精鋭化による収入減を補うものであり、この値上げについては参画経験のある出店者にも理解をいただきました。

また、企業等の物販を行わないブースにも、1ブース5,000円／日の出展料をお願いしました。これにはなかなか賛同を得るのに苦労しましたが、なんとか支払っていただくことを約束していただきました。

●助成金について

本年度においては、兵庫県中播磨県民センターからは「中播磨地域づくり活動応援事業」、姫路市からは「提案型商店街賑わい推進事業」の助成金をいただくことができました。これらの助成金は、アナウンスのタイミング、申請のタイミング、申請書類、内容、プレゼン方法等が全て異なっていることから、県や市のホームページを確認しつつ、どの助成金が我々の事業に合致したものであるかを検討の上、申請を行っていただきたいと思います。

なお、助成金については貰えることを前提とした事業計画書は作成することができないことから、助成金が確定する時期等、申請のタイミングと事業計画書作成のタイミングには十分に注意が必要です。

5. HIMEJI DREAM FESTA 2017 運営

① 組織体制

昨年度は予定者段階で組織体制を整えながら、運営会議の組織図や運営会議の詳細などを決定して進めました。しかし、運営会議においての組織体制に不十分なところもあり、理想とする組織体制が組むことが出来ませんでした。結果として、公益社団法人姫路青年会議所の本来の組織図から少し離れると違和感が残るので、現状の組織図から外さない立場と役割、責任と権限を明確にした組織体系をとることが会議を円滑に進める上で必要との教訓を得ました。

本年度においては、昨年度の経験に学び、運営会議を実施する上で、議題の確認、調整内容等、おおまかな方針を決定し、その方針に基づいて毎月運営会議を開催する計画を立てました。

本部会議は、実施日は毎月の正副スタッフ会議報告・要望・依頼・確認事項にて実施し、会議内容は、HIMEJI DREAM FESTA 2017 運営会議での内容等について方向性の確認を行いました。予算は本部会議が管轄し、HIMEJI DREAM FESTA 2017 運営会議から上がってきた予算の整合性を確認し、承認を行いました。

運営会議は、副理事長・専務理事・室長・委員長を持って構成し、三輪副理事長を議長とし、運営会議の司会進行は地域開発室三木室長が行いました。担当する市民主体のまち創造委員会有川委員長・地域開発室三木室長は委員長間・室長間の意見まとめ役としました。会議では、各委員会が企画段階からお互いに情報交換を行い、全体での意識統一を図ることでHIMEJI DREAM FESTA 2017のスムーズな運営と成功を図ることを目的とし、各委員長より事業内容等の意見抽出を行うことで、全体のイメージの共有を行いました。

② 事業構成

組織	事業 / 役割	事業内容
理事会	全体統括	理事会・正副スタッフでの HDF 全体の統括
チャレンジする市民主体のまち 創造委員会	H I M E J I D R E A M F E S T A 2 0 1 7 ～大会基本情報の決定～	大会テーマや日時・場所の決定
チャレンジする市民主体のまち 創造委員会	H I M E J I D R E A M F E S T A 2 0 1 7 ～チャレンジ ONE MORE アクション～	HDF の運営・実施 各委員会の調整
チャレンジする世界が訪れたい まち推進委員会	国際交流の第一歩 ～姫路と世界を感じよう～	モンゴルブース ゲル展示 馬頭琴演奏 姫革細工ワークショップ等
国際アカデミー招致委員会	チャレンジ！自宅のできる国際交流 ～ホストファミリーへの道～	ホストファミリーセミナー ゴミステーション管理
J C 運動発信委員会	O n e m o r e F l a s h ! ～H I M E J I D R E A M F E S T A 2 0 1 7 を明るく照らせ！～	HP や SNS を利用した広報 広報活動ブース アンケート活動 ドローンを利用した広報
健全な青少年育成委員会	想いをチカラに ～未来をつくるワン・モア・アクション～	メッセージフラワー OOHO 作成 スタンプラリー ビデオ上映
未来の教育ビジョン推進委員会	子どもの心に寄り添って、 未来に繋がる第一歩」	筆文字アート 総合案内ブース
総務委員会	H I M E J I D R E A M F E S T A 参画・支援	来場者カウント リニア署名活動
研修特別委員会	H I M E J I D R E A M F E S T A 参画・支援	来場者カウント リニア署名活動 スタンプラリー
渉外交流委員会	H I M E J I D R E A M F E S T A 参画・支援	飲食ブース清掃 動物ブース
会員拡大委員会	H I M E J I D R E A M F E S T A 参画・支援	ゴミステーション管理 飲食ブース清掃

③ 参画者募集

これまで姫路 JC の運動の中で培った連携や H I M E J I D R E A M F E S T A の参画実績がある団体のネットワークを活用することは、比較的に参画者を募りやすいと考えます。本年度においては、これまでに築き上げてきたネットワークをより強固なものとするを目的に、まずは参画実績のある団体に声掛けをして、参画者の参画意思を確認しました。これまでのネットワークを生かすためにも、前年度担当委員会との引き継ぎをしっかりと行い、参画者の連絡先や主幹となりうる団体の名前等を予め確認しておくことで、まず声掛けすべき参画者の割り出しを行った上で、参画者への声掛けを行いました。

特に、食文化協会や播州ストリートダンス協会等、代表者に声をかけておけば、複数の団体を呼んでいただける団体には、何度も連絡を重ねて、コミュニケーションを図り、協力体制を整えていただくことが大切です。

また、市内の各商店街を利用したスタンプラリーの参画者募集については、各商店街の理事会に出席して H I M E J I D R E A M F E S T A が行おうとしていることについて PR、協力要請を行う等、こまめな顔合わせが必要であり、また、スタンプ設置のお願いについても、直接お店へ足を運び協力依頼することが重要です。

④ 広報展開

今年の活動は、基本的には例年同様、広報担当である JC 運動発信委員会が担っていただきました。H I M E J I D R E A M F E S T A という一つの事業で、各委員会が個別に広報活動を行うのでは統一性が図れなくなる恐れもあることから、JC 運動発信委員会が単独で広報活動を行うことは、非常に有益であると考えます。

広報担当委員会と、H I M E J I D R E A M F E S T A 担当委員会とは、常に連携をとって、H I M E J I D R E A M F E S T A の事業内容や広報スケジュールについて情報を共有しておくべきです。密な連携が、効果的な広報活動、参加推進運動に繋がるものと考えます。



6. HIMEJI DREAM FESTA 2017 実施

① 事業説明会

今年度も、大会一か月前に事業説明会を開催しました。説明会においては、特に、食文化ブース関係者への注意事項が多いことから、食文化ブース関係者が比較的に集まりやすい日時として、説明会の実施日時を決定した。事業説明会には、例年とほぼ同数の参画者が出席して頂けました。

事業説明会の内容としては、開催趣旨説明、今回大会のテーマである「チャレンジ！ONE MORE アクション」の再アナウンス、当日までの流れ、当日のスケジュール等、大会開催へ向け思いを一つにできるような内容を盛り込んだ。また、HIMEJI DREAM FESTA 2017で行われる事業内容を説明し、どのような大会になるか理解していただきました。また、大会開催に向けて広報宣伝について説明し、参加動員を図る方法について知っていただき、当日までの流れ及び当日の流れを説明し、大会開催に向けて意識を統一しました。参画者の代表者がONE MORE アクションを発表することで、各参画者は責任と気概が生まれ、参画団体間に協働の意欲を高めました。また、現役会員は大会中に各参画団体がどのような事業をするか共有することで、参画者とのコミュニケーション促進につなげることができました

年度においては、カテゴリー毎に集まっていただき、参画団体ミーティングを開催することで、ONE MORE アクションを起こしやすい雰囲気を出し、新たなネットワークが構築されるような場を提供しました

② 当日までの設営

姫路市の施設を使用する際は、姫路の「後援」を申請すると3割の減免を受けることができるので、必ず後援申請を提出する必要があります。

③ 当日の運営

事前に作成した人員配置シートに、すべての役割分担とスケジュールリングを行った。担当委員会は、各会場に責任者として配属され、事業実施委員会はそれぞれの事業を中心に、事業を実施しない委員会には、運営支援として各会場の管理や運営サポート役を担っていただきました。

④ 来場者集計

本年度：約 25,645人

各委員会事業にお越しいただいた方のカウント、ステージ演目数と平均客数から算出したステージでの動員数、その他会場内における動員数を足す積み上げ方式を採用しました。通行量方式と比較することで、より正確な来場者の分析を行いました。民謡集団 鯨、播州ストリートダンス協会やHIMEJI JAZZ FESTA など全ての参画団体の力によって動員につながっていただきました。

■ 各委員会事業

チャレンジする世界が訪れたいまち推進委員会		1,540人
国際アカデミー招致委員会	ブース	252人
	セミナー	97人
健全な青少年育成委員会		472人
未来の教育ビジョン推進委員会		450人
	計	2,811人

■ 大手前公園ブース

食ブース	28ブース	時間当たり6人	18時間営業	2,808人
企業・市民活動ブース	24ブース	時間当たり6人	18時間営業	2,592人
伝統文化ブース	6ブース	時間当たり5人	18時間営業	540人
キッズエリア	4ブース	時間当たり7人	18時間営業	504人
			計	6,444人

■ ステージ

東洋大学附属姫路高等学校、姫路工業高等学校	200席中	70%	140人
ビクトリーナ姫路	200席中	70%	140人
WT-Egret	200席中	80%	160人
Music School Dream	200席中	80%	160人
クラーク記念国際高等学校	200席中	100%	200人
ブラジル音楽MATRIX	200席中	80%	160人
御国野小学校	200席中	200%	400人
播州ストリートダンス協会	200席中	100%	200人
HIMEJI JAZZ FESTA	200席中	250%	500人
姫路東高等学校	200席中	70%	140人
ASハリマアルビオン	200席中	80%	160人
姫路工業高等学校軽音楽部	200席中	75%	150人
姫路高等学校	200席中	75%	150人
別府高等学校	200席中	75%	150人
姫路高等学校	200席中	80%	160人
琴丘高等学校	200席中	75%	150人
アーティストコラボレーション企画	200席中	100%	200人
中村利紗	200席中	80%	160人
スマイルレンジャー	200席中	80%	160人
亀田ゆか	200席中	100%	200人
岡部・城本	200席中	70%	140人
姫路警察署	200席中	75%	150人
馬頭等コンサート	200席中	80%	160人
		計	3,770人

■ 姫路駅北駅前広場、姫路市商店街連合組合

リーフレット配布	1,000枚	100%	1,000人
夏・花・あかり	時間当たり10人	10時間設置	100人
スタンプラリー	6,000枚	70%	4,200人
ペンライト	1,000本	100%	1,000人
		計	6,300人

■ 市民会館

民謡集団 鯨	800席	50%	400人
太鼓集団 一瀬	800席	50%	400人
ゆめさき明神太鼓 保存会	800席	50%	400人
姫路龍山保育園 和太鼓絆	800席	50%	400人
おおかわち太鼓	800席	50%	400人
和太鼓衆 潮舞	800席	50%	400人
杉乃鼓	800席	50%	400人
民謡集団 鯨とエイサーを踊ろう会	800席	50%	400人
西郷センター合唱団	800席	50%	400人
和太鼓サークルほこほこ	800席	50%	400人
香寺太鼓	800席	50%	400人
舞踊一心	800席	50%	400人
hitomiBellydance	800席	50%	400人
		計	5,200人

■ ドリフェス客席

姫路落語愛好会 3話	100席	70%	210人
姫路アマチュア落語交流会 3話	100席	70%	210人
		計	420人

■ 技・祭 語り部会

小栗橋 健治氏		120人
家永 晋文氏		60人
		計 180人

合計 25,645人

⑤ 参画・協力団体一覧

【参画団体】

区分	NO.	団体名
食	1	創作西洋菓子 大陸
食	2	中国料理 新北京
食	3	こく旨肉鍋「ほてい屋」
食	4	Daining Primo
食	5	じごろ 地料理 地酒 姫路の馳走
食	6	「からだキレイLab」リバーズヴィレッジ
食	7	アサヒフーズ
食	8	たまごや
食	9	いろは
食	10	高砂こくてんの会
食	11	うまいでえ！加古川かつめしの会
食	12	姫路食研究楽会
食	13	神河町特産の自然薯を使ったコロッケ
食	14	良寛
食	15	厚切焼肉 福福亭
食	16	まねきのえきそば
食	17	キッチン天
食	18	たこ焼 さくら
食	19	ブーレまつもと
食	20	さようしかバーガー
食	21	朝来市但馬地鶏 カラアゲの山ちゃん
食	22	おの恋ホルモン焼きそば
酒	1	酒文化ツーリズム
酒	2	エルデベルク
伝統	1	屋台文化保存連絡会
伝統	2	築 KIZUKI
伝統	3	兵庫県立ものづくり大学
企業等	1	株式会社東邦ゴルフ
企業等	2	大和ハウス工業㈱
企業等	3	牛尾立正園
企業等	4	Bigforest
企業等	5	㈱ヤマヒロ
企業等	6	㈱平田建設
企業等	7	坂上建設㈱
企業等	8	(有)松島建築
企業等	9	㈱プレジャーライフ
企業等	10	㈱キョーリン
企業等	11	積水ハウス㈱
企業等	12	ソニー生命保険㈱
企業等	13	フィリップモリスジャパン
市民活動	14	画廊・城本
市民活動	15	二階町商店街振興組合青年部
市民活動	16	Music School Dream・KRD
市民活動	17	マジックランプⅡ
市民活動	18	太陽公園
市民活動	20	熊本城復興支援プロジェクト
市民活動	21	銀の馬車道ネットワーク協議会
市民活動	22	兵庫県姫路警察署
市民活動	23	自衛隊
市民活動	24	二階町商店街振興組合青年部
キッズ	1	姫路セントラルパーク

区分	NO.	団体名
ステージ	1	東洋大学付属姫路高等学校 応援指導部
ステージ	2	兵庫県立姫路工業高校チアリーダー部
ステージ	3	ヴィクトリーナ姫路
ステージ	4	WT-Egret
ステージ	5	Music School Dream
ステージ	6	クラーク記念国際高等学校「百花繚乱」
ステージ	7	ブラジル音楽MATRIX
ステージ	8	御国野小学校ソーランチーム
ステージ	9	播州ストリートダンス協会
ステージ	10	HIMEJI JAZZ FESTA
ステージ	11	兵庫県立姫路東高等学校吹奏楽部
ステージ	12	ASハリマアルビオン
ステージ	13	兵庫県立姫路工業高校軽音楽部
ステージ	14	姫路市立飾磨高等学校 フォークソング部
ステージ	15	兵庫県立姫路別所高等学校 フォークソング部
ステージ	16	姫路市立姫路高等学校 フォークソング部
ステージ	17	姫路市立琴丘高等学校 フォークソング部
ドリフェス寄席	1	姫路落語愛好会
ドリフェス寄席	2	姫路アマチュア落語交流会
鼓舞	1	民謡集団 鮎
市民会館	2	太鼓集団 一擲
鼓舞	2	ゆめさき明神太鼓保存会
鼓舞	3	姫路前山保育園 和太鼓絆
鼓舞	4	おおかわち太鼓
鼓舞	5	和太鼓衆 潮舞
鼓舞	6	杉乃鼓
鼓舞	7	興浜太鼓集団「一擲」
鼓舞	8	民謡集団 鮎とエイサーを踊ろう会
鼓舞	9	西播センター合唱団
鼓舞	10	和太鼓サークルほこほこ
鼓舞	11	香寺太鼓
鼓舞	12	灘龍一心
鼓舞	13	hitomiBellydance
夏・あかり	1	姫路市安室中学校美術部
夏・あかり	2	姫路市増井中学校美術部
夏・あかり	3	姫路市花田中学校美術部
夏・あかり	4	姫路市夢前中学校美術部
夏・あかり	5	兵庫県立香寺高等学校美術部
夏・あかり	6	自由ヶ丘高等学校美術部
夏・あかり	7	姫路市立姫路高等学校美術部
駅前・商店街	1	駅前商店街振興組合
駅前・商店街	2	みゆき通り商店街振興組合
駅前・商店街	3	本町商店街振興組合
駅前・商店街	4	二階町商店街振興組合
駅前・商店街	5	おみぞ筋商店街振興組合
駅前・商店街	7	姫路市商店街連合組合
合計	98	団体

【協力団体】

区分	NO.	団体名	協力内容
協力団体	1	姫路市	後援
協力団体	2	姫路市教育委員会	後援
協力団体	3	姫路市産業局産業振興課	助成金
協力団体	4	姫路市観光振興課	後援
協力団体	5	姫路市姫路駅周辺整備室	相談
協力団体	6	姫路市文化財課	申請
協力団体	7	姫路市総管理室	申請
協力団体	8	姫路市市民活動推進課	相談
協力団体	9	姫路市コンベンションビューロー	相談
協力団体	10	姫路市コンベンションサポート	相談
協力団体	11	姫路市市民活動ボランティアサポートセンター	相談
協力団体	12	一般社団法人ひとネットワークひめじ	相談
協力団体	13	姫路駅北にぎわい交流広場	申請
協力団体	14	兵庫県 企画県民部 知事室 秘書課	相談
協力団体	15	兵庫県中播磨県民センター	相談
協力団体	16	兵庫県中播磨県民センター県民交流室	助成金
協力団体	17	ウシオライティング株式会社	相談
協力団体	18	花の街姫路実行委員会	相談
協力団体	19	コムサロン21	相談
協力団体	20	姫路食文化協会	相談
協力団体	21	姫路駅前商店街振興組合	相談
協力団体	22	姫路市商工会議所 中小企業相談所 産業政策担当	相談
協力団体	23	WINK	記録
協力団体	24	KISS FM	広報
協力団体	25	FM ゲンキ	広報
協力団体	26	富士広告社	相談
合計	26	団体	

⑥ 事業実施内容

【ステージ】

今大会も、市内の高校生バンドや、ダンスチーム等、多くの方にステージを飾っていただきました。今大会では、一日目はダンスをメイン、二日目は音楽をメインに持ってくることで、各開催日の特色づけを行いました。特に、開会セレモニーでは、市内高校生チアリーダーによる二校合同のパフォーマンスを行っていただき、「ONE MORE アクション」の幕開けに相応しいチャレンジになりました。

「ミュージックフェス」では、これまで参画していなかった高校のフォークスソング部等にも参画いただき、より多くの高校生を巻き込んだステージになりました。「ONE MORE アクション」としては、参画していただくプロの音楽教室の方々と一緒に、全参画者での合唱にチャレンジしていただきました。この「ONE MORE アクション」は、二日目のフィナーレに相応しいステージとなりました。

「JAZZ and DANCE」では、ジャズとダンスのコラボレーションに挑戦していただきました。これまで4年間は、姫路で活動するダンス教室等を中心に、ステージにてダンスパフォーマンスを行っていただきました。各団体のそれぞれの

パフォーマンスも行っていただきましたが、これまで参画していただいていた「Himeji Jazz Festa」による演奏をBGMにして、「播州ストリートダンス協会」所属のダンスチームがダンスパフォーマンスをおこなっていただきました。ダンスチームの方は、その後も客席で踊っていただくなど、最後まで会場の雰囲気作りに協力していただきました。

【食文化エリア】

今大会においても、姫路市や播磨地域の食文化団体、姫路市内で活躍される飲食店にブース出店をしていただきました。「ONE MORE アクション」としては、国内の来姫者に、播磨の食文化を発信することはもとより、昨今増えつつある外国人観光客に向けて、名物料理等の外国語メニュー表記の掲示、外国人観光客への積極的な声掛けに挑戦していただきました。当日の各ブースにおいては、外国語で説明したパネルを掲示し、アレルギーや宗教的な観点からも、使用されている食材の説明も加えました。

【市民団体・企業の活動・伝統文化発信エリア】

今大会において、地元企業や市内で活動されている市民団体、伝統文化の継承を行う団体に協力いただき、姫路の魅力を発信していただきました。「ONE MORE アクション」としては、本業を生かした社会貢献活動を行っていただきました。ブースでは、各団体の得意分野を生かしたワークショップ、体験ブース等が並びました。

【和太鼓とダンスの協演祭 鼓舞2017】

和太鼓の演奏は、これまでの大会でもメインステージの一演目として行われてきました。今大会においては、姫路市民会館を使って、和太鼓がメインの一大事業を開催しました。そこでは、姫路で活動する和太鼓演奏の団体が7団体集まっていただきました。演目の中では、和太鼓の演奏だけではなく、「ONE MORE アクション」として、和太鼓の演奏にあわせて、ダンス団体にパフォーマンス行っていただくというコラボにもチャレンジしていただきました。今までとは別々で活動していた各団体が、一堂に介することで、一つの団体ではできなかった感動を聴衆に与えることができました。

【ドリフェス寄席】

これまでの大会では、参画者が日頃取り組んでいる落語を披露していただきました。今大会では、落語を披露するだけではなく、聴衆（主に子供向け）に実際に落語を体験していただき、落語の魅力に触れていただく機会を設けました。「ONE MORE アクション」としては、子供を対象とした落語講座、実際に着物を着て舞台上で演じていただくなど、聴衆を巻き込んだ寄席にチャレンジしていただきました。

【祭・技 語り部の会 2017】

イーグレひめじアリーナ A において、ミニ屋台を 10 体展示しました。新調されて使われていない屋台（中村地区・宇佐崎地区）の一部を借り展示しました。また、小学生や教育関係者を対象に、まつり文化の入口である地域の魅力について発表したり、先生から学んでいただいたりしました。大人を対象としては、専門家の方からまつり文化について、解説いただきました。展示や解説だけではなく、各語り部会の最後には、参加いただいた方と講師の方とが交流できる時間を作りました。

【夏・花・あかり 2017】

これまで大手前公園で行っていたあかり事業を、今大会では、より多くの人の目に触れる機会を作るという意味において、大手前公園だけでなく姫路駅北駅前公園でも行うことにチャレンジしました。あかりドームの作成は、例年同様、市内の中学・高校の美術部の学生に行っていただきました。また、昨年繋がったネットワークを生かすためにも、本年においても花を使ったフラワーボードの作成を行いました。本年においては、花を展示するだけではなく、あかりとのコラボにチャレンジしました。姫路駅北駅前公園で「夏・花・あかり 2017」事業を行うことが「H I M E J I D R E A M F E S T A 2017」の P R 活動となり、大手前公園への集客に繋がりました。

【商店街にぎわい事業】

多くの観光客が集まる姫路駅からお城までの間に、H I M E J I D R E A M F E S T A 2017 のメイン会場である大手前公園は位置しています。また、大手前公園までに商店街のアーケード街があり、駅からお城まで歩かれる方の多くは商店街を抜けることになります。H I M E J I D R E A M F E S T A 2017 へ多くの来場者を集めるためには、商店街を盛り上げ、人の賑わいを創出することで相乗効果を創出することができると考えました。みゆき通り商店街及び駅前商店街にあかりによる演出によって、いつもとは一見異なる設えを施すことで、多くの来姫者、市民の方を大手前公園へと導きました。また、ソフト面として、来姫者や各商店街の方々に協力を頂くことで、スタンプラリー、おもてなし運動を行いました。

⑦ 当日の風景

【8月5日】



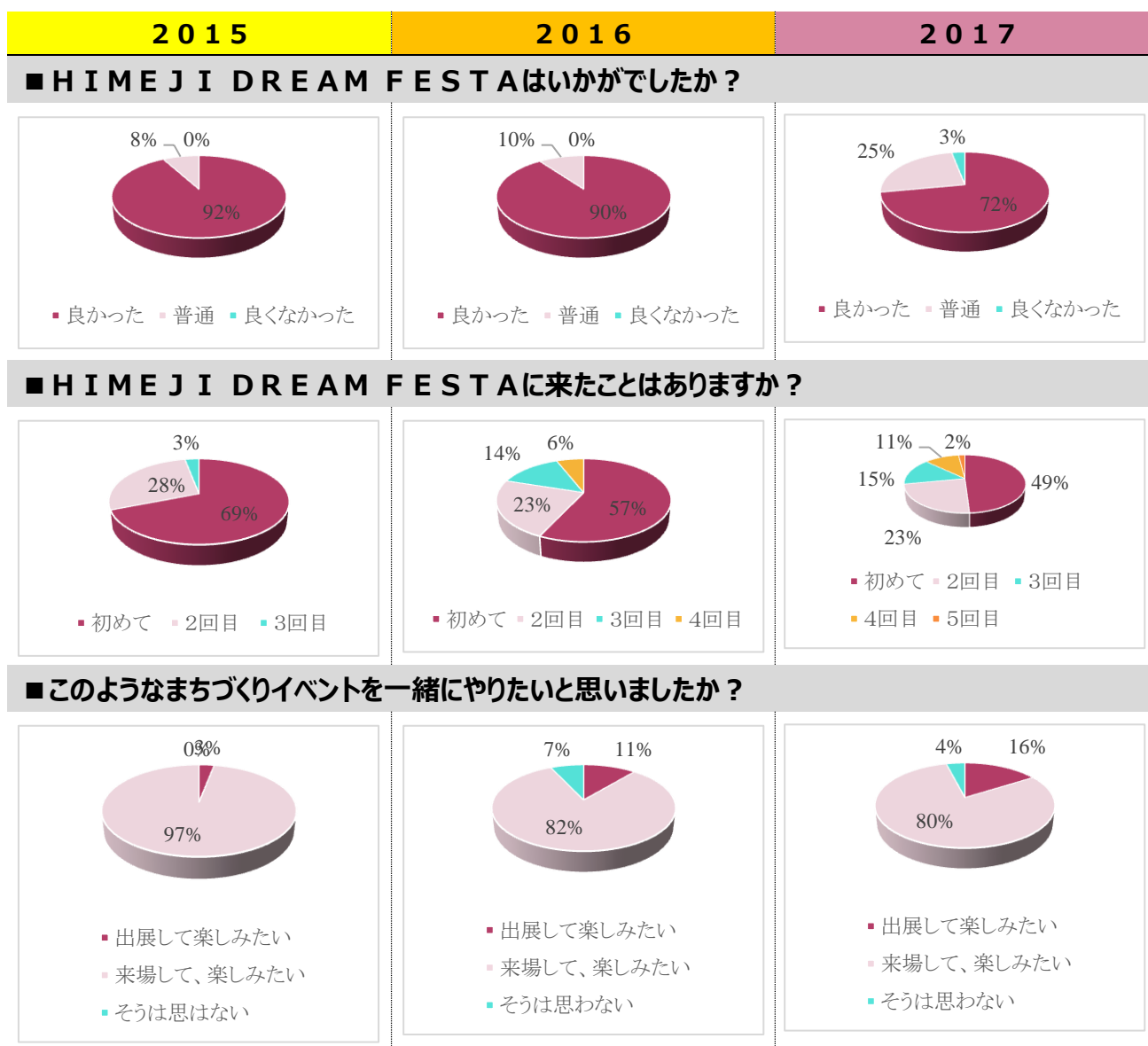
【8月6日】



7. アンケート結果

これまでの大会を振り返って、比較可能なアンケート結果に基づき、過去3年間の推移を検証してみました。

① 来場者アンケート



過去3年間の比較では、来場者の多くがHIMEJI DREAM FESTAを楽しんでいただいていることが分かりました。また継続開催を重ねることによって認知度が増した結果として、初めて来られた方の割合が減少していき、リピーターが増えていることが読み取れます。来場者の方々の中で、参画してみたいと希望される方はそこまで多くはありませんが、まちづくりイベントを楽しみたいと感じていらっしゃる方は9割以上いらっしゃいました。

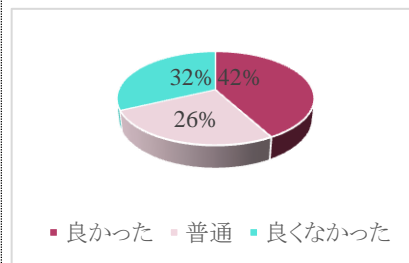
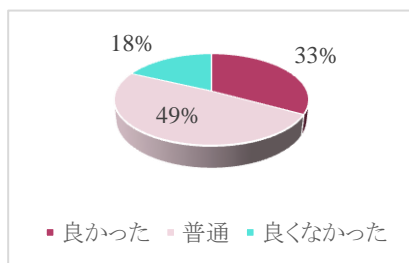
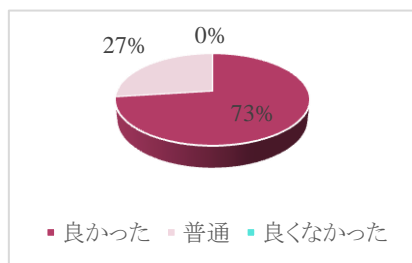
② 参画者アンケート

2015

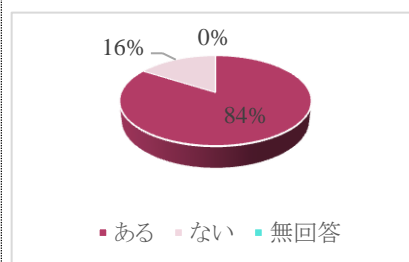
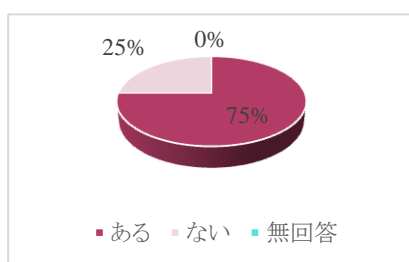
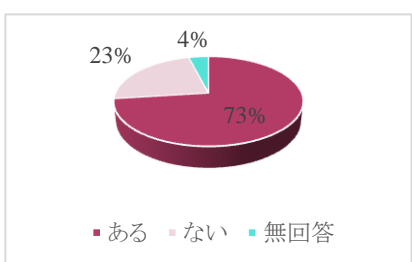
2016

2017

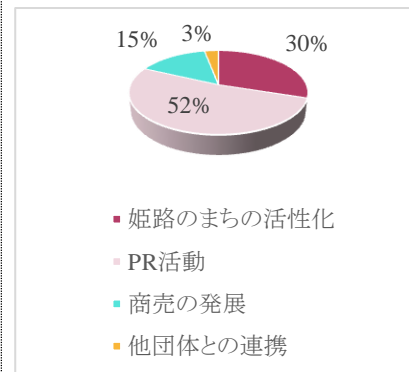
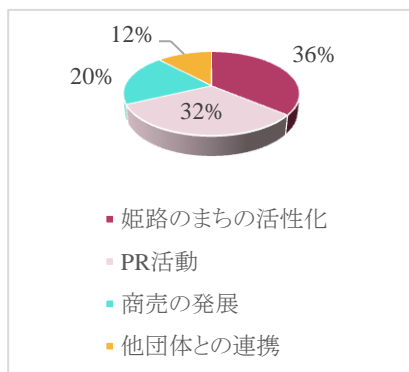
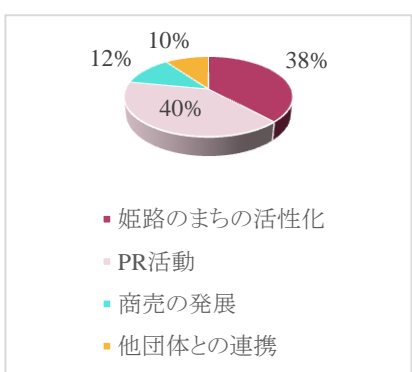
■ HIMEJI DREAM FESTAはいかがでしたか？



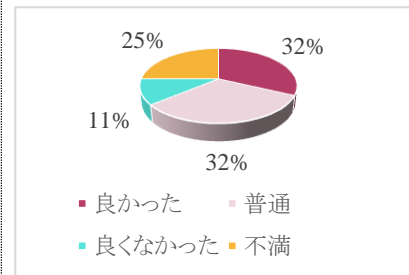
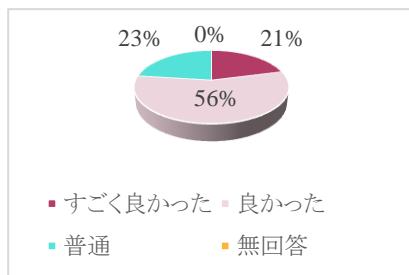
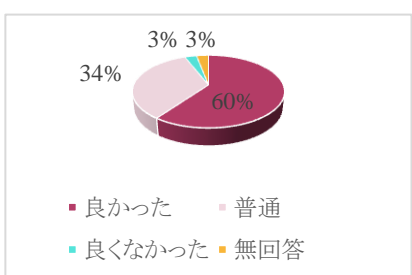
■ 今までに今回のような様々な団体と共に創るまちづくり活動に関わったことはありますか？



■ 今回参加されるにあたり、どのようなことを期待されていましたか？



■ 上記の期待に対し、満足されましたか？



例年、参画される方が多くがPR活動という結果も出ており、参画者の期待に応えるためにも、参加推進方法には心血を注ぐ必要があります。本年度においては、暑さから売り上げが伸びなかった食ブース関係の方々から、良い評価は得られませんでした。一方で、ステージ関係では高い評価をいただいております。本年度においても、概ね良い評価を得ているものと感じました。

8. 今後の展開 ～5回の開催を振り返って～

我々は、5年目の集大成としてH I M E J I D R E A M F E S T A 2017取り組んでまいりました。開催後、各参画者の方とお話しをいただいた中で、公益社団法人姫路青年会議所が当初から目指していた「夏の風物詩」や「姫路の夏祭り」に、更に一步前進したのではないかと実感しました。参画者募集段階での話ではありますが、H I M E J I D R E A M F E S T A開催の連絡をとったところ「ああ、毎年している夏のイベントね。ぜひ参加させていただきます」と前向きな返事を即座にいただけたり、参画者の方から「そろそろH I M E J I D R E A M F E S T Aの頃ではないですか」と問い合わせてくれる参画団体もいっしょったり、一度参画していただいた方には、しっかりと印象付けられているとの感触を得ました。

しかし、こと来場者に限って言えば、まだまだ我々が目指しているものには遠く及んでいないと感じました。H I M E J I D R E A M F E S T Aが真の「夏の風物詩」や「姫路の夏祭り」へと進化するためには、公益社団法人姫路青年会議所が主体となって、継続開催することが必要であると感じました。

5年目の集大成としての位置づけとして、これまで培ってきたネットワークをより強固のものとし、参画者が主体性をもって行動できるような大会とすることを目的としてきました。その手法として「ONE MORE アクション」にチャレンジしていただくことを採用しました。今大会を通じて、参画者同士の繋がりがさらに深まり、今後の活躍が期待されます。

今後の展開としては、我々公益社団法人姫路青年会議所が中心にいらなくても、参画者が中心となって、これまで築いてきたネットワークをフル活用し、H I M E J I D R E A M F E S T Aが開催できるようになることが期待できます。

9. おわりに

H I M E J I D R E A M F E S T A 2017の事業構築から準備、開催におきまして、地元で活躍されているだけでなく青年会議所の想いを形にいただきました企業の皆様、日頃より相談やアドバイスをいただき活動を支えていただきました行政関係の皆様、いつもタイトなスケジュールに嫌な顔一つ見せずにご協力いただきました学生及び教員の皆様、仕事を通じてだけでなく市民活動を通して姫路の魅力をいつも発信いただいている市民団体の皆様、そして、いつも温かく支えていただき、多くの無理なお願いにも応えていただきました公益社団法人姫路青年会議所会員の皆様、H I M E J I D R E A M F E S T Aの大会実施についてご報告をさせていただけるまでご協力をいただきまして心より御礼申し上げます。皆様と一丸となって一年を駆け抜けてこられたからこそ、H I M E J I D R E A M F E S T A 2017を成功させられたと感じております。

5年目の継続開催とはなりましたが、2013年からH I M E J I D R E A M F E S T Aに対して一年ごとに想いを上乘せし、かつ、担当者間で十分に引き継いできたからこそ、積み重ねてきた実績が強固なネットワークとなって、2017年度も昨年同等の事業を開催させていただけたのではないかと考えております。大会の振り返りを通して、H I M E J I D R E A M F E S T Aは姫路の新たな夏祭りとして、お城まつりやゆかた祭りに匹敵するような大会を目指して事業構築されてきたことが分かりますが、行政主体の夏祭りを行うのではなく、公益社団法人姫路青年会議所だからこそできるまちづくりとは何かを追求し、事業を構築して参りました。そして、小さな運動を大きくするために一人でも多くの方を巻き込んで実施してきた5年間だったのではないのでしょうか。これらの運動を積み重ねることで、H I M E J I D R E A M F E S T Aという市民が主体となって姫路独自で独創的な市民の祭典という確固たる立ち位置を築き上げられてきたと考えます。市民が姫路のことを考え、想いを共有することで皆が協働する意欲を持ち、一つの事業創り上げる中で、姫路の魅力である市民の皆様とその活動を発信していくことができたと思っています。

様々な価値観が混沌とする今だからこそ、姫路のまちを支える皆様が主体となって、明るい豊かな社会の実現を目指して今後とも活動して参りましょう。

公益社団法人姫路青年会議所

チャレンジする市民主体のまち創造委員会一同